

共 通 教 育

「学生による授業評価」ならびに
「教員のFD活動レポート」

報 告 書

平成16年度(後学期)



平成17年9月

宮 崎 大 学

共通教育「学生による授業評価」ならびに 「教員のFD活動レポート」報告書の作成にあたって

平成16年4月から宮崎大学は国立大学法人宮崎大学となった。法人として中期目標・中期計画を作成し、年次計画を逐次実施し、6年後には中期目標を達成する必要がある。共通教育部においても自己点検の結果に基づいて改善すべき点を明らかにし、改善案に沿って計画を実施することで共通教育を更に発展・強化することが義務付けられている。

そこで、共通教育部としては、法人化初年度である平成16年度において前・後学期に開講されたすべての共通教育科目に対して「学生による授業評価」を実施した。評価の結果は、科目別・項目別に分析し、全教員がその分析結果を把握できるよう報告書という形で公表することとした。この報告書は、学生による授業評価を単なる評価の実施で終わらせるのではなく次年度の授業を改善し共通教育を発展させるための不可欠の資料になるものだと信じる。

また、平成16年度から「学生による授業評価」と同時に「教員のFD活動レポート」を実施した。このレポートでは授業担当教員が自らの授業を評価した。このレポートには教員自らの評価と学生による評価との相関を解析するための項目が多数存在し、各項目ごとに、学生と教員による授業評価の比較を行なうことができるようになっている。これにより、学生と教員の開講科目に対する評価のズレを明確にすることができ、授業を改善する際の貴重な指標になると考えている。

平成16年度前学期分の「学生による授業評価」および「教員のFD活動レポート」の分析結果については既に皆様のお手元に届いていると思う。この度、平成16年度後学期分の分析結果を本報告書として公表する。この報告書に記載されている学生による授業評価の結果を真摯に受け止めると共に、学生と教員による授業評価の比較及び教員による自己評価の結果を合わせて参照することで、次年度の授業において改善すべき点が明確になると信じる。そして、この作業を逐次繰り返すことによって授業を質的に向上させることが教員のFD活動そのものであると確信している。この報告書が教員のFD活動に利用され、授業が質的に向上するための一助になることを切に望んでいる。

平成17年9月

宮崎大学共通教育部自己点検・評価委員会委員長

西森 利数

目 次

| | |
|------------------------------|----|
| 第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD活動レポート | 1 |
| 第2章 評価結果の分析 | 5 |
| 【1】全科目の平均について | 5 |
| 【2】科目群ごとの分析 | 7 |
| 【2-1】大学教育基礎科目について | 8 |
| 【2-2】主題教養科目について | 9 |
| 【2-3】選択教養科目について | 10 |
| 【2-4】専門基礎科目について | 11 |
| 第3章 学生による評価と教員による自己評価の比較 | 12 |
| 【1】全科目の平均について | 13 |
| 【2】英語について | 14 |
| 【3】コミュニケーション英語について | 15 |
| 【4】初修外国語について | 16 |
| 【5】保健体育について | 17 |
| 【6】主題教養科目について | 18 |
| 【7】選択教養科目について | 19 |
| 【8】専門基礎科目について | 20 |
| 第4章 教員のFD活動レポート | 21 |
| 【1】授業方法や授業内容について | 22 |
| 【2】FD活動プラン | 24 |
| 【3】自分の授業の評価点・問題点 | 26 |
| 【4】学生による授業評価およびFD活動レポートについて | 31 |
| 第5章 科目ごとのデータ一覧 | 32 |
| 第6章 本調査の今後の課題 | 39 |
| 「共通教育部自己点検・評価委員会」委員名簿 | 40 |

第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD活動レポート

平成16年度後学期の共通教育科目についての「学生による授業評価」は次のように実施された。

| | |
|----------|---|
| 実施時期 | 平成16年(2004年)1月下旬～2月上旬の授業期間中。 |
| 対象科目 | すべての共通教育科目(207科目)。 |
| 実施方法 | 実務は学生部学生課と大学教育研究企画センターが担当し、各科目の登録学生数に応じた枚数の調査票をあらかじめ用意し各教員に配布した。各教員は授業時間内に学生に調査票を配布して調査を実施し、ただちに回収した。その後、大学教育研究企画センターが集計作業を行った。 |
| 回収率 | 80%(207科目中、166科目を回収した。) |
| 返却 | 各教員へは調査票の現物とともに「結果報告書」が返却された。 |
| 報告 | すべての科目の集計結果が共通教育部自己点検・評価委員会に報告された。本報告書は当該報告に基づき同委員会が作成した。 |
| FD活動レポート | 前回の平成16年度前学期から担当教員に「FD活動レポート」の提出を求めている。FD活動レポートは、所定の用紙を各教員に配布し、記入の後、学生用調査票とともに提出してもらった。 提出率は58%(207科目中、120科目分のFD活動レポートが提出された。) |

※調査票・結果報告書・FD活動レポートの現物を以下に掲載した。なお、実際には、「科目コード」「授業科目」「担当教員」の〇〇の部分にデータがあらかじめ記入されている。

※なお、平成17年度前学期の授業評価は平成17年7月上旬に実施され、287科目中235科目を回収した。(回収率82%)。

FD活動レポートは287科目中196科目分が提出された。(提出率68%)。

現在、データを集計・入力中であり、近日中に報告書としてまとめられる予定である。

「学生による授業評価」調査票(共通教育)

共通教育部自己点検・評価委員会

記入にあたっては、真剣に、かつ、率直な評価をしてください。この調査を教員の授業改善につなげ、共通教育の充実を図ります。なお、この調査とあなたの成績とは一切関係ありません。

科目コード: ○ ○ ○ 授業科目: ○ ○ ○

担当教員: ○ ○ ○

I. 質問項目:

A: 受講・勉学態度等に関して

1 私(回答者自身)は75%以上授業に出席した。

2 私(回答者自身)は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。

予習や復習/重要事項の書き留め/課題の提出/授業内・外での教師への質問(オフィスアワーの活用)、等

B: 担当教員の教授技法や授業内容等に関して

3 授業はシラバスに沿って行われた。

4 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。

5 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

6 重要ポイントが明示的で、説明も分かり易かった。

7 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。

8 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C: その他

9 学習環境は適切だった。

受講生数/教室の照明/空調/机・椅子などの備品の状態、等

D: 総合的な授業評価

10 満足できる授業だった。

II. 回答欄:

所属等: 学籍番号のはじめの4ケタを記入してください。

次の4段階評価に従って、最も適切な数字(④~①)を選んで、該当する丸数字を黒く塗りつぶしてください。

④:あてはまる ③:ややあてはまる ②:あまりあてはまらない ①:あてはまらない

| | | マーク欄 | | | | 自由記述欄(左の項目に関連した意見や感想) |
|---|----|------|---|---|---|-----------------------|
| A | 1 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 2 | ④ | ③ | ② | ① | |
| B | 3 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 4 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 5 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 6 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 7 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 8 | ④ | ③ | ② | ① | |
| C | 9 | ④ | ③ | ② | ① | |
| D | 10 | ④ | ③ | ② | ① | |

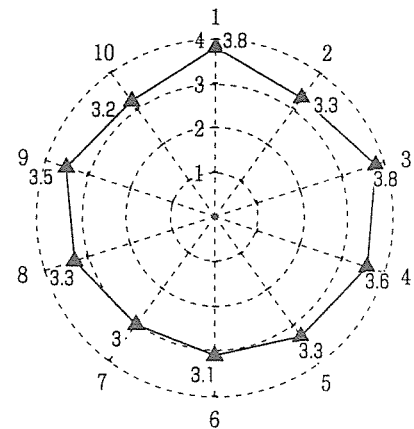
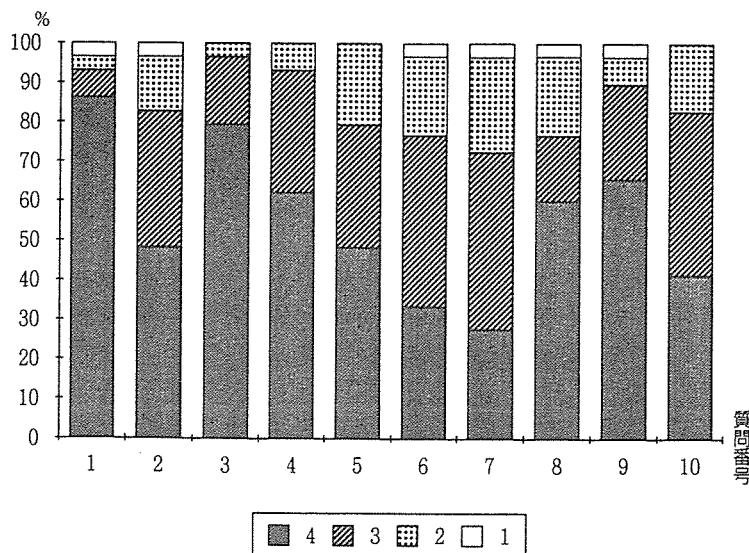
III. その他、この授業について、よかったこと、改善を求めたいこと、等の意見や感想を自由に述べてください。

「学生による授業評価」の結果報告書

| | | | | | | |
|-------|---------|------|--------|----|------|----|
| 科目コード | ○ ○ ○ | 科目区分 | 共通教育 | | | |
| 授業科目 | ○ ○ ○ | | | | | |
| 担当教官 | ○ ○ ○ ○ | 実施時期 | 平成16年度 | 学期 | 回答者数 | 29 |

I. 授業結果

| No. | 質問項目 | 4 | 3 | 2 | 1 | 合計 |
|-----|-------------------------------|-----|----|----|---|-----|
| 1 | 私（回答者自身）は75%以上授業に出席した。 | 25 | 2 | 1 | 1 | 29 |
| 2 | 私（回答者自身）は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。 | 14 | 10 | 4 | 1 | 29 |
| 3 | 授業はシラバスに沿って行われた。 | 23 | 5 | 1 | | 29 |
| 4 | 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。 | 18 | 9 | 2 | | 29 |
| 5 | 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。 | 14 | 9 | 6 | | 29 |
| 6 | 重要ポイントが明示的で、説明も分かり易かった。 | 10 | 13 | 6 | 1 | 30 |
| 7 | 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。 | 8 | 13 | 7 | 1 | 29 |
| 8 | 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。 | 18 | 5 | 6 | 1 | 30 |
| 9 | 学習環境は適切だった。 | 19 | 7 | 2 | 1 | 29 |
| 10 | 満足できる授業だった。 | 12 | 12 | 5 | | 29 |
| | | 161 | 85 | 40 | 6 | 292 |



II. 受講生の授業評価を受けて分かったこと、感想、改善すべきことなど回答用紙で確認ください。

この調査は教員の授業改善につなげ、共通教育の充実を図ることを目的としています。記入にあたっては、各授業科目毎に率直に自分の授業を点検してください。

科目コード: ○ ○ ○ 授業科目: ○ ○ ○

担当教員: ○ ○ ○

I. 質問項目:

回答者名: ()

A: 授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、自分の活動を自己点検してください。

- 1 シラバスに沿って授業を行えた。
- 2 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。
- 3 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。
- 4 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。
- 5 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。
- 6 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。
- 7 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。
- 8 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

B: 当該授業科目を次回実施する学期までに、取り組もうと考える具体的なFD活動プランを以下から選んでください。

- 9 授業方法の改善の観点（複数回答可）
 - ①他教員の授業参観 ②学内外のFD講演会・実例研修等への参加
 - ③FD関連書籍・レポートの閲読・卒読 ④その他
- 10 授業内容の充実・強化の観点（複数回答可）
 - ①学会誌・紀要等への論文執筆或いはシンポジウムへの出席や発表 ②関連書籍等の閲読・卒読
 - ③教科書・参考書等の執筆・出版 ④その他
- 11 FD活動に対する助成（予算措置）の必要性の有無
学生の授業評価と教員の授業自己点検の連携という観点からみた、共通教育部としてのFD活動推進のための予算措置の必要性
 - ①必要あり ②特に必要なし

II. 回答欄:

1～8について: 次の4段階評価に従って、最も適切な数字(④～①)を選んで、該当する丸数字を黒く塗りつぶしてください。

④:あてはまる ③:ややあてはまる ②:あまりあてはまらない ①:あてはまらない

9～11について: 質問に対応する適切な数字を選んで、該当する丸数字を黒く塗りつぶしてください。

| | | マーク欄 | | | | 自由記述欄(左の項目に関連した意見や感想) |
|---|----|------|---|---|---|-----------------------|
| A | 1 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 2 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 3 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 4 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 5 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 6 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 7 | ④ | ③ | ② | ① | |
| | 8 | ④ | ③ | ② | ① | |
| B | 9 | ① | ② | ③ | ④ | ④の場合具体的に: |
| | 10 | ① | ② | ③ | ④ | ④の場合具体的に: |
| | 11 | ① | ② | | | ①の場合具体的に: |

III. 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、このFD活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

第2章 評価結果の分析

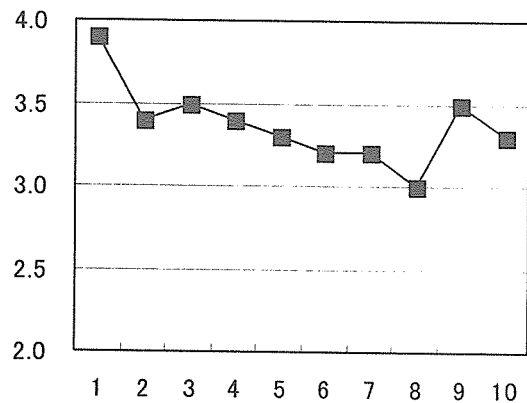
【1】全科目の平均について

質問項目ごとにすべての共通教育科目(全207科目のうち回収された166科目)の評価の平均を計算すると次の表のようになった。

| 質問項目 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全科目の平均 | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.0 | 3.5 | 3.3 |

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階評価で行われている。

上の表をグラフにすると右のグラフのようになる。横軸は質問項目を、縦軸は評価を表している。(グラフの評価2未満の部分は省略した。)



また、質問項目は以下の10項目である。

A: 回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。

B: 教員の教え方について

- 3 授業はシラバスに沿って行われた。
- 4 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 5 担当教員の話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 6 重要なポイントが明示的で、説明も分かり易かった。
- 7 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 8 担当教員は授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C: 学習環境について

- 9 学習環境は適切だった。

D: 総合的な授業評価

- 10 満足できる授業だった。

平成16年度前学期と比較すると次のとおりである。

| 質問項目 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 平成16年度前学期 | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.2 | 3.2 | 3.1 | 3.1 | 2.9 | 3.4 | 3.2 |
| 平成16年度後学期 | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.0 | 3.5 | 3.3 |

どの項目に関しても大きな違いはない。ただし、教員の教え方への評価(質問項目4～7)は後学期の方がややよい。結局、全科目の平均から以下の特徴を読み取ることができる。

授業評価アンケートに答えている学生たちの出席率はよい。(質問項目1)

教員の教え方への評価は後学期の方が前学期よりやや高い。(質問項目5～7)

自学自習の促進への評価が最も低い。(質問項目8)

「満足できる授業だった」については「ややあてはまる」。(質問項目10)

【2】科目群ごとの分析

共通教育科目を15の科目群に分類した場合の評価の平均は次の通りである。

| 質問項目 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|----------------------|-----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全科目平均 | | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.0 | 3.5 | 3.3 |
| 大学 教育 基礎 科目 | (1) 英語(25科目) | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 3.6 | 3.3 |
| | (2) コミュニケーション英語(28科目) | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.4 | 3.6 | 3.4 |
| | (3) 初修外国語(38科目) | 3.9 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 3.0 | 3.2 | 3.6 | 3.2 |
| | (4) 保健体育科目(25科目) | 3.9 | 3.8 | 3.7 | 3.8 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.1 | 3.6 | 3.8 |
| 主題 教養 科目 | (5) 現代の社会と倫理(9科目) | 3.9 | 3.3 | 3.5 | 2.9 | 3.0 | 2.8 | 2.9 | 2.7 | 3.3 | 3.0 |
| | (6) 人間と文化(9科目) | 3.9 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 2.7 | 3.2 | 3.4 |
| | (7) 現代社会の課題(9科目) | 3.9 | 3.3 | 3.6 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 2.6 | 3.5 | 3.3 |
| | (8) 自然と生命(10科目) | 3.9 | 3.1 | 3.4 | 2.8 | 2.9 | 2.8 | 2.7 | 2.5 | 3.3 | 2.8 |
| 選択 教養 科目 | (9) 文化・社会系(12科目) | 3.9 | 3.3 | 3.5 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.3 | 2.5 | 3.3 | 3.4 |
| | (10) 科学・技術系(10科目) | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.3 | 3.3 | 3.2 | 3.0 | 2.9 | 3.5 | 3.3 |
| | (11) 生命科学系(4科目) | 3.9 | 3.3 | 3.6 | 3.2 | 3.1 | 3.0 | 3.2 | 2.7 | 3.4 | 3.2 |
| | (12) 複合・学際系(5科目) | 3.9 | 3.3 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.3 | 3.3 | 2.4 | 3.6 | 3.4 |
| | (13) 生涯学習系(4科目) | 3.9 | 3.6 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.0 | 3.6 | 3.6 |
| | (14) 外国語系(7科目) | 4.0 | 3.8 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.3 | 3.8 | 3.8 |
| (15) 専門基礎科目(7科目) | 3.9 | 3.4 | 3.7 | 3.2 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 3.6 | 3.4 | |

以下、この表にもとづいて評価結果を分析していこう。

その際、全科目平均との差に注目し、全科目平均よりも値が低い欄には網掛けをして一目で分かるようにする。

以下のページの表で網かけは全科目平均よりも低いことを表す。

【2-1】大学教育基礎科目について

まず、上の表から大学教育基礎科目の部分だけを取り出す。さらに、全科目平均との差を表に書き加える。差がマイナスになっている欄は全科目平均より値が低いことを表す。さらに、差がマイナスになっている欄には網をかける。次のようになった。

| 質問項目 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|----------------------|-----------------------|-----|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|------|
| 全科目平均 | | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.0 | 3.5 | 3.3 |
| 大学 教育 基礎 科目 | (1) 英語(25科目) | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 3.6 | 3.3 |
| | 全科目平均との差 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | -0.1 | 0.2 | 0.1 | 0 |
| | (2) コミュニケーション英語(28科目) | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.4 | 3.6 | 3.4 |
| | 全科目平均との差 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.1 | 0.1 | 0 | 0.4 | 0.1 | 0.1 |
| | (3) 初修外国語(38科目) | 3.9 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 3.0 | 3.2 | 3.6 | 3.2 |
| | 全科目平均との差 | 0 | 0 | -0.1 | -0.1 | -0.1 | -0.1 | -0.2 | 0.2 | 0.1 | -0.1 |
| (4) 保健体育科目(25科目) | 3.9 | 3.8 | 3.7 | 3.8 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.1 | 3.6 | 3.8 | |
| 全科目平均との差 | 0 | 0.4 | 0.2 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.1 | 0.1 | 0.5 | |

このグラフから次の傾向が読み取れる。

- (1)「英語」は質問7(学習意欲)以外はすべて平均以上である。
- (2)「コミュニケーション英語」はすべて平均以上である。
- (3)「初修外国語」(ドイツ語, フランス語, 中国語)は平均以下の項目が多い。
- (4)「保健体育科目」はすべて平均以上である。特に、質問4(授業のレベル設定), 5(話し方等の適切さ), 6(重要ポイントの明示), 7(学習意欲の刺激), 10(総合的満足度)などが平均を大きく上回っている。「保健体育科目」は前学期の調査でも高い評価を得ていた。

科目別データによると、「英語A2」と「コミュニケーション英語Mc2」に満足度「3.9」の科目があることや、「健康スポーツ科学IIA」に満足度「4.0」の科目が2つあることが目を引いた。(本報告書32, 33, 35ページに科目別データが記載されている。)

「保健体育科目」への学生の評価は(前後期とも)高い。

【2-2】主題教養科目について

次に、主題教養科目について同様に全科目平均との比較を行なう。

| 質問項目 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|----------------|-------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全科目平均 | | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.0 | 3.5 | 3.3 |
| 主題 教養 科目 | (5) 現代の社会と倫理(9科目) | 3.9 | 3.3 | 3.5 | 2.9 | 3.0 | 2.8 | 2.9 | 2.7 | 3.3 | 3.0 |
| | 全科目平均との差 | 0 | -0.1 | 0 | -0.5 | -0.3 | -0.4 | -0.3 | -0.3 | -0.2 | -0.3 |
| | (6) 人間と文化(9科目) | 3.9 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 2.7 | 3.2 | 3.4 |
| | 全科目平均との差 | 0 | -0.1 | -0.2 | 0 | 0 | 0 | 0 | -0.3 | -0.3 | 0.1 |
| | (7) 現代社会の課題(9科目) | 3.9 | 3.3 | 3.6 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 2.6 | 3.5 | 3.3 |
| | 全科目平均との差 | 0 | -0.1 | 0.1 | 0 | 0 | 0 | -0.1 | -0.4 | 0 | 0 |
| | (8) 自然と生命(10科目) | 3.9 | 3.1 | 3.4 | 2.8 | 2.9 | 2.8 | 2.7 | 2.5 | 3.3 | 2.8 |
| 全科目平均との差 | 0 | -0.3 | -0.1 | -0.6 | -0.4 | -0.4 | -0.5 | -0.5 | -0.2 | -0.5 | |

「現代の社会と倫理」および「自然と生命」への評価の低さが目立つ。

ここで、特に質問10の「満足できる授業だった」に関して、個々の科目別のデータを見てみよう。

(5)「現代の社会と倫理」の9科目の質問10への評価は、高い順に「3.9」「3.7」「3.3」「3.0」「2.9」「2.8」「2.6」「1.8」である。9科目のうち4科目が3未満であることが目を引く。

(6)「人間と文化」の9科目の場合は、高い順に「3.8」「3.6」「3.6」「3.5」「3.4」「2.8」「2.8」「未提出」「未提出」である。

(7)「現代社会の課題」の9科目の場合は、高い順に「3.6」「3.5」「3.3」「3.3」「3.2」「3.1」「3.0」「3.0」「未提出」である。

(8)「自然と生命」の10科目の場合は、高い順に「3.6」「3.3」「3.2」「2.9」「2.9」「2.8」「2.5」「2.1」「2.0」「未提出」である。10科目のうち6科目が3未満である。「自然と生命」は前学期の調査でも低い評価をされていた。(前学期の場合、満足度の平均が「2.9」であった。)

「現代の社会と倫理」「自然と生命」への評価が低い。

特に「自然と生命」は前後期とも低い評価をされている。

【2-3】選択教養科目について

次に、選択教養科目について同様に全科目平均との比較を行なう。

| 質問項目 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|----------------|-------------------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 全科目平均 | | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.0 | 3.5 | 3.3 |
| 選択 教養 科目 | (9) 文化・社会系(12科目) | 3.9 | 3.3 | 3.5 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.3 | 2.5 | 3.3 | 3.4 |
| | 全科目平均との差 | 0 | -0.1 | 0 | -0.1 | -0.1 | 0 | 0.1 | -0.5 | -0.2 | 0.1 |
| | (10) 科学・技術系(10科目) | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.3 | 3.3 | 3.2 | 3.0 | 2.9 | 3.5 | 3.3 |
| | 全科目平均との差 | 0 | 0 | 0 | -0.1 | 0 | 0 | -0.2 | -0.1 | 0 | 0 |
| | (11) 生命科学系(4科目) | 3.9 | 3.3 | 3.6 | 3.2 | 3.1 | 3.0 | 3.2 | 2.7 | 3.4 | 3.2 |
| | 全科目平均との差 | 0 | -0.1 | 0.1 | -0.2 | -0.2 | -0.2 | 0 | -0.3 | -0.1 | -0.1 |
| | (12) 複合・学際系(5科目) | 3.9 | 3.3 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.3 | 3.3 | 2.4 | 3.6 | 3.4 |
| | 全科目平均との差 | 0 | -0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.3 | 0.1 | 0.1 | -0.6 | 0.1 | 0.1 |
| | (13) 生涯学習系(4科目) | 3.9 | 3.6 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.0 | 3.6 | 3.6 |
| | 全科目平均との差 | 0 | 0.2 | 0.1 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.4 | 0 | 0.1 | 0.3 |
| | (14) 外国語系(7科目) | 4 | 3.8 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.3 | 3.8 | 3.8 |
| | 全科目平均との差 | 0.1 | 0.4 | 0.2 | 0.2 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.3 | 0.5 |

「生涯学習系」「外国語系」の評価の高さが目立つ。ただし、「外国語系」は7科目のうち4科目しか授業評価が実施されていないので調査の精度は必ずしも高くない。

「生命科学系」は質問10(満足度)はほぼ平均どおりだが、教員の教え方(質問3～8)への評価がやや低い。

科目別のデータによると、「文化社会系」と「外国語系」に満足度「4.0」の科目が一つずつあることが目を引いた。(本報告書37ページに科目別データが記載されている。)

生涯学習系, 外国語系の選択科目への評価は高い。

【2-4】専門基礎科目について

次に、専門基礎科目について同様に全科目平均との比較を行なう。

| 質問項目 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 全科目平均 | 3.9 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.0 | 3.5 | 3.3 |
| (15) 専門基礎科目(7科目) | 3.9 | 3.4 | 3.7 | 3.2 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 3.6 | 3.4 |
| 全科目平均との差 | 0 | 0 | 0.2 | -0.2 | 0 | 0 | 0 | 0.2 | 0.1 | 0.1 |

専門基礎科目はほぼ全科目平均とほぼ同じ評価である。

第3章 学生による評価と教員による自己評価の比較

「学生による授業評価」の質問項目と「教員のFD活動レポート」の質問項目とは次のように対応している。

| 学生による授業評価 | | 教員のFD活動レポート | |
|-----------|------------------------------------|-------------|-----------------------------------|
| 1 | 私は75%以上授業に出席した。 | | |
| 2 | 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。 | | |
| 3 | 授業はシラバスに沿って行われた。 | 1 | シラバスに沿って授業を行えた。 |
| 4 | 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。 | 2 | 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。 |
| 5 | 担当教員の話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。 | 3 | 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。 |
| 6 | 重要なポイントが明示的で、説明も分かり易かった。 | 4 | 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。 |
| 7 | 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。 | 5 | 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。 |
| 8 | 担当教員は授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。 | 6 | 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。 |
| 9 | 学習環境は適切だった。 | | |
| 10 | 満足できる授業だった。 | | |
| | | 7 | 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。 |
| | | 8 | シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。 |

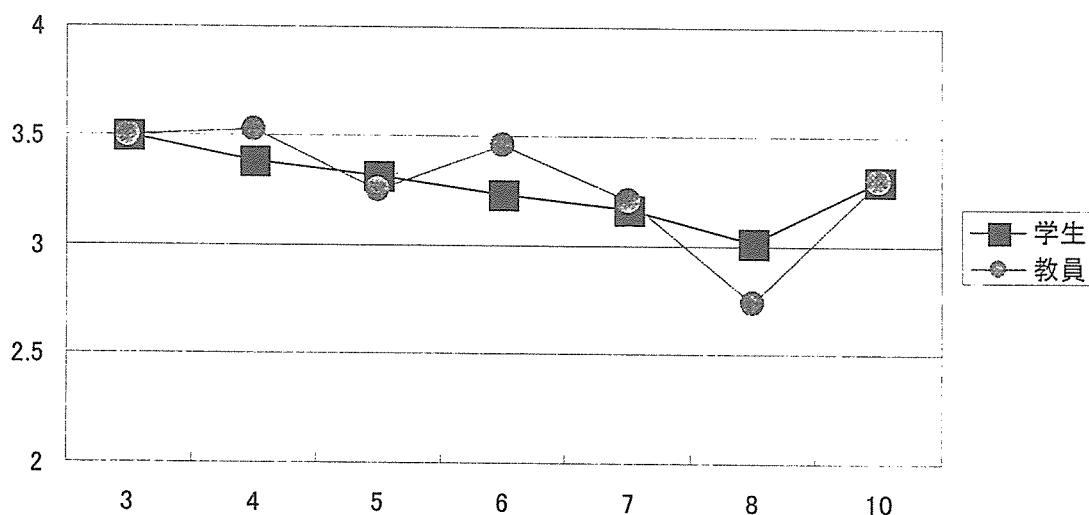
そこで、「学生による授業評価」の質問3, 4, 5, 6, 7, 8, 10 について「教員のFD活動レポート」の対応項目との比較を行なおう。ただし、その際、比較の精度を上げるために、教員のFD活動レポートが提出された科目(120科目)についてのみ比較を行うことにする。したがって、本章における「学生による授業評価」の回答の平均値は前章のものとは数字が異なる場合がある。

【1】全科目の平均について

全207科目中、「学生による授業評価」は166科目、「教員のFD活動レポート」は120科目が提出された。後者の120科目について両者を比較してみよう。

| 質問項目 (学生による授業評価) | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 10 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学生による評価 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.0 | 3.3 |
| 教員の自己評価 | 3.5 | 3.5 | 3.2 | 3.5 | 3.2 | 2.7 | 3.3 |

この結果をグラフにする。



このグラフを見ると次のことが分かる。質問4(レベル設定), 6(ポイントの明示)で教員の自己評価の方が学生による評価よりもやや高く、質問8(予習復習を課す)で逆に学生による評価の方がやや高い。その他の、質問3(シラバスに沿った授業), 5(話し方や板書), 7(学習意欲を刺激), 10(満足度)に関しては両者の評価はほぼ一致している。

授業のレベル設定やポイントの明示に関して、教員の自己評価よりも学生による評価の方が低い。

他方、予習・復習について、学生は、教員が考えている以上に、課されていると評価している。

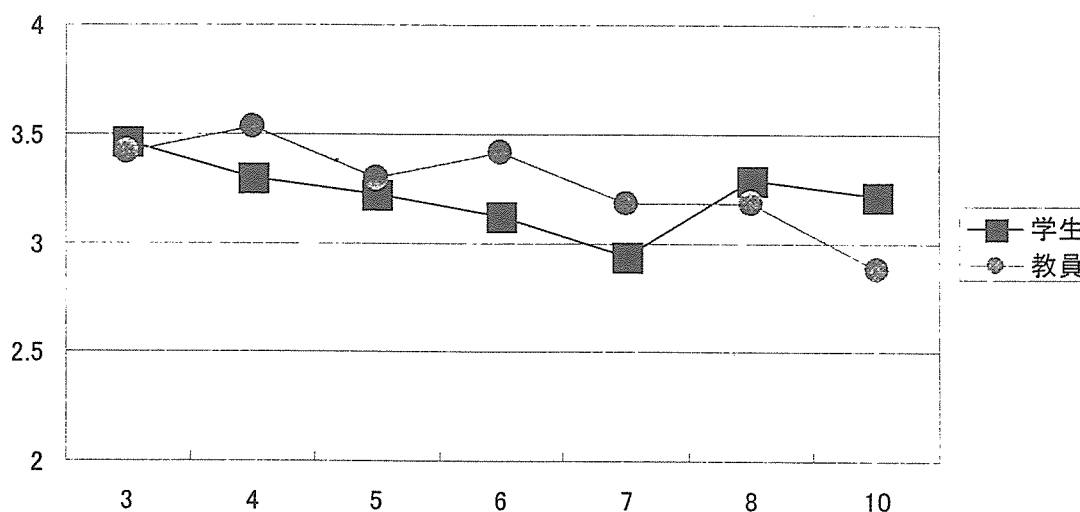
次に、科目群ごとに比較して行こう。

【2】英語(25科目)について

25科目中、「学生による授業評価」は23科目、「教員のFD活動レポート」は17科目が提出された。後者の17科目について両者を比較してみよう。

| 質問項目 (学生による授業評価) | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 10 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学生による評価 | 3.5 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 2.9 | 3.3 | 3.2 |
| 教員の自己評価 | 3.4 | 3.5 | 3.3 | 3.4 | 3.2 | 3.2 | 2.9 |

この結果をグラフにする。



このグラフを見ると、質問3(シラバス), 5(話し方), 8(予習復習)の評価は一致しており、質問4(レベル), 6(ポイント), 7(学習意欲)は教員の自己評価の方が学生による評価より高く、他方、質問10(満足度)に関しては学生による評価の方が高いことが分かる。

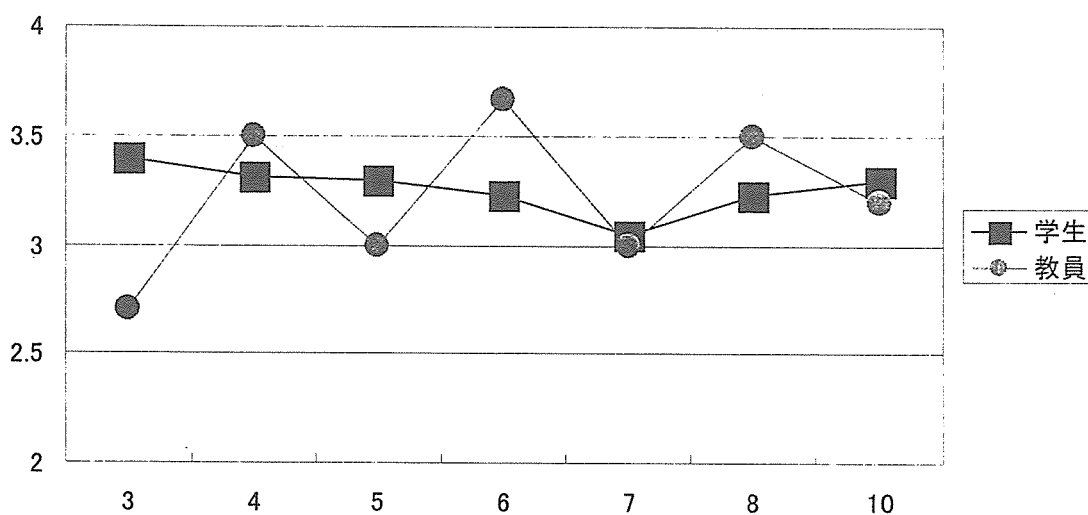
英語の場合、教え方についての学生の評価は教員の自己評価よりも低い
が、授業の満足度については学生による評価の方が高い。

【3】コミュニケーション英語(28科目)について

28科目中、「学生による授業評価」は19科目、「教員のFD活動レポート」は6科目が提出された。後者の6科目について両者を比較してみよう。

| 質問項目 (学生による授業評価) | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 10 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学生による評価 | 3.4 | 3.3 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 3.3 |
| 教員の自己評価 | 2.7 | 3.5 | 3.0 | 3.7 | 3.0 | 3.5 | 3.2 |

この結果をグラフにする。



このグラフを見ると、一致しているのは、質問7(学習意欲)と10(満足度)であり、教員の評価の方が高いのは、質問4(レベル)、6(ポイント)、8(予習復習)であり、学生の評価の方が高いのは、質問3(シラバス)、5(話し方)であることが分かる。

しかし、サンプル数が28科目中わずか6科目であるので、正確な分析のためにはデータ不足である。

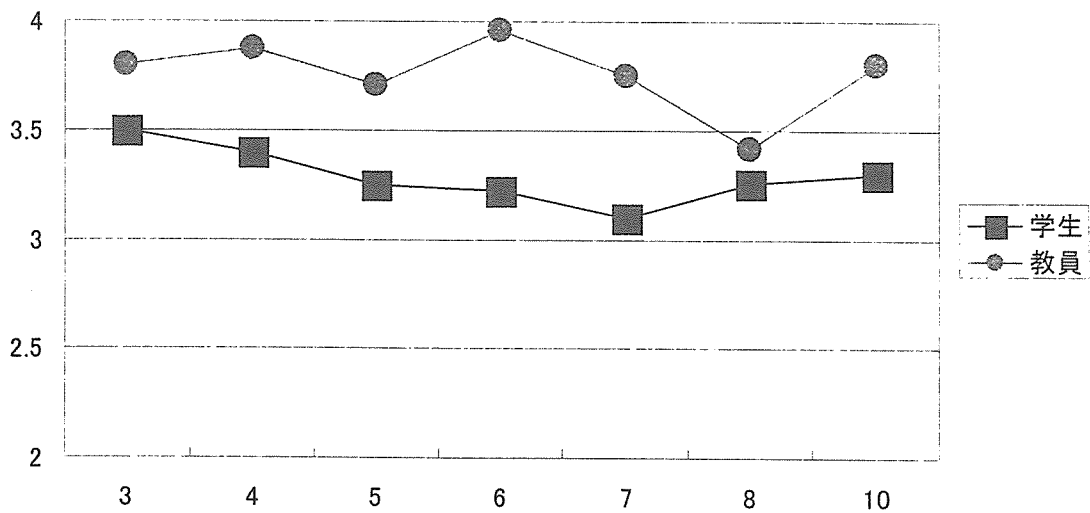
コミュニケーション英語の場合、FD活動レポートの提出率が低い。

【4】初修外国語(38科目)について

38 科目中、「学生による授業評価」は31科目、「教員のFD活動レポート」は24科目が提出された。後者の24科目について両者を比較してみよう。

| 質問項目 (学生による授業評価) | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 10 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学生による評価 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 3.3 | 3.3 |
| 教員の自己評価 | 3.8 | 3.9 | 3.7 | 4 | 3.8 | 3.4 | 3.8 |

この結果をグラフにする。



このグラフを見ると、ほぼすべての項目について教員の自己評価の方が学生による評価よりも高いことが分かる。

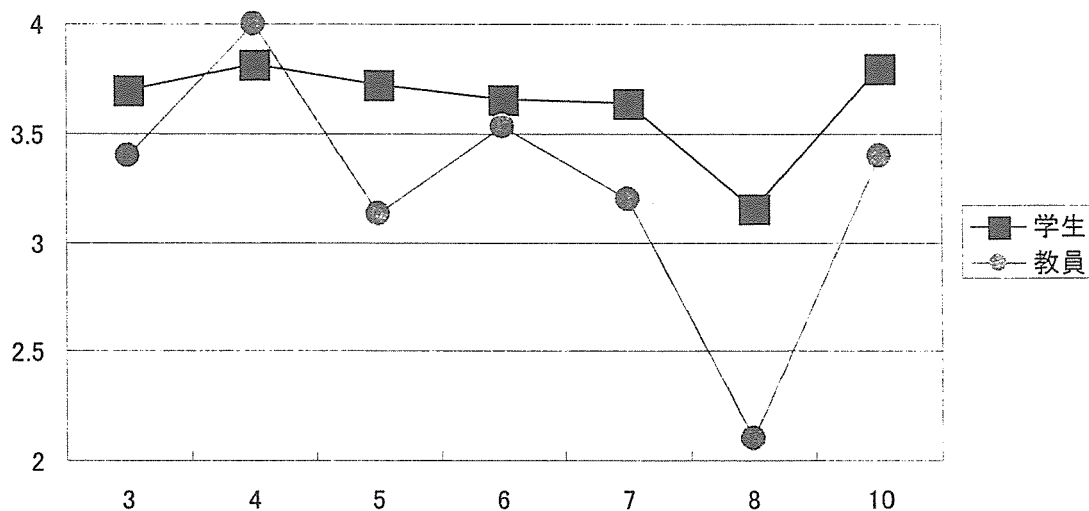
初修外国語の場合、教員の自己評価より学生による評価の方が低い。

【5】保健体育(25科目)について

25科目中、「学生による授業評価」は20科目、「教員のFD活動レポート」は15科目が提出された。後者の15科目について両者を比較してみよう。

| 質問項目 (学生による授業評価) | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 10 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学生による評価 | 3.7 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 3.6 | 3.2 | 3.8 |
| 教員の自己評価 | 3.4 | 4 | 3.1 | 3.5 | 3.2 | 2.1 | 3.4 |

この結果をグラフにする。



このグラフを見ると、質問4(レベル)以外のすべての項目について学生による評価の方が教員の自己評価よりも高いことが分かる。

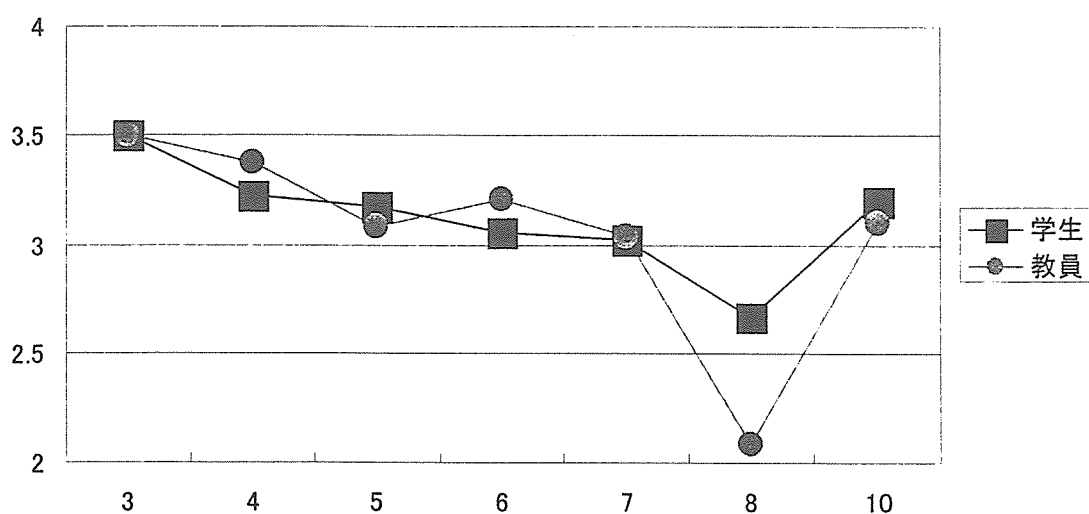
保健体育の場合、教員の自己評価よりも学生による評価の方が高い傾向にある。

【6】主題教養科目(37科目)について

37科目中、「学生による授業評価」は32科目、「教員のFD活動レポート」は24科目が提出された。後者の24科目について両者を比較してみよう。

| 質問項目 (学生による授業評価) | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 10 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学生による評価 | 3.5 | 3.2 | 3.2 | 3.1 | 3.0 | 2.7 | 3.2 |
| 教員の自己評価 | 3.5 | 3.4 | 3.1 | 3.2 | 3.0 | 2.1 | 3.1 |

この結果をグラフにする。



このグラフを見ると、質問8(予習復習)以外のすべての項目について両者の評価がほぼ一致していることが分かる。

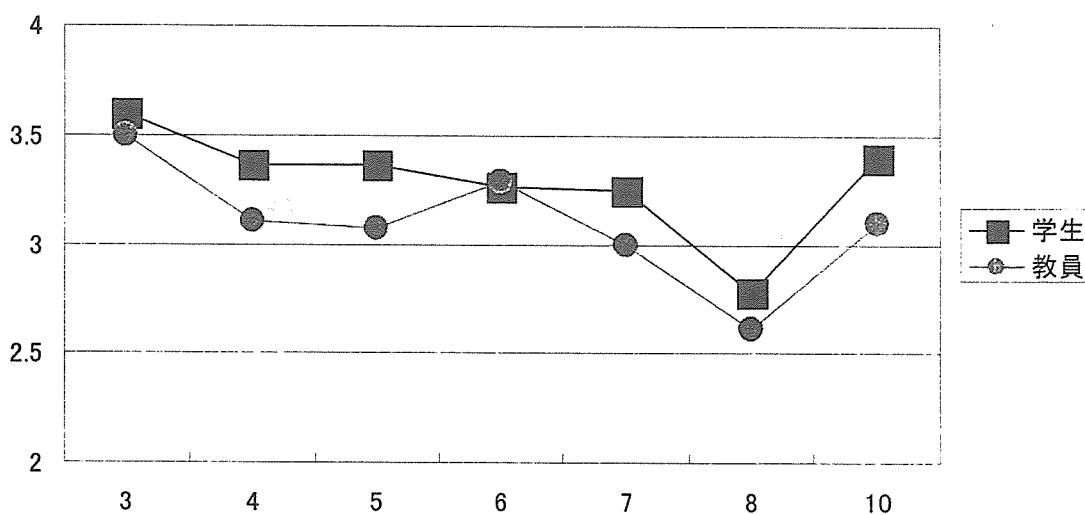
主題教養科目の場合、教員の自己評価と学生による評価はほぼ一致している。

【7】選択教養科目(42科目)について

42科目中、「学生による授業評価」は34科目、「教員のFD活動レポート」は29科目が提出された。後者の科目について両者を比較してみよう。

| 質問項目 (学生による授業評価) | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 10 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学生による評価 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 2.8 | 3.4 |
| 教員の自己評価 | 3.5 | 3.1 | 3.1 | 3.3 | 3.0 | 2.6 | 3.1 |

この結果をグラフにする。



このグラフを見ると、質問3(シラバス)、6(ポイント)の評価は一致しており、他の項目はすべて教員の自己評価より学生による評価の方が高いことが分かる。

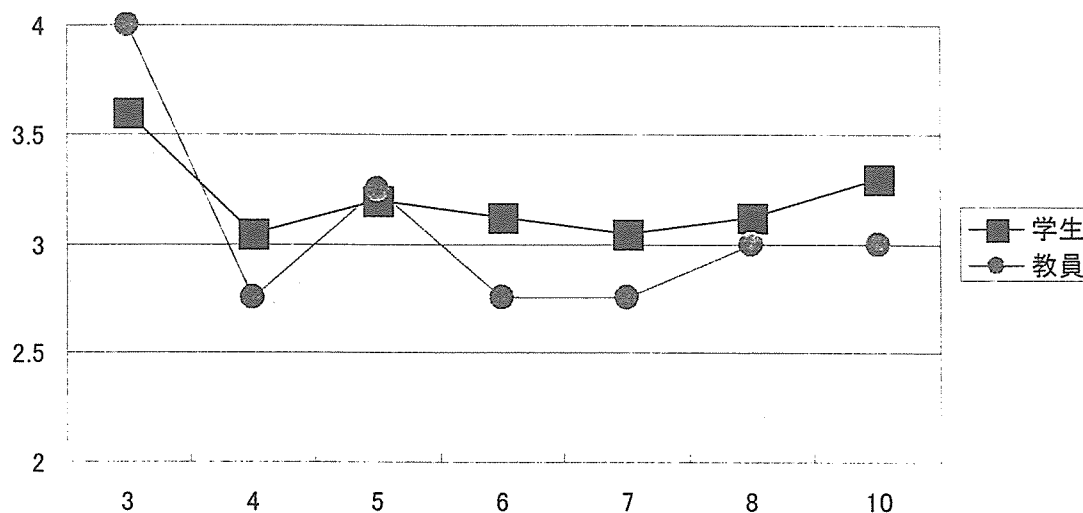
選択教養科目の場合、教員の自己評価よりも学生による評価の方がやや高い傾向にある。

【8】専門基礎科目(7科目)について

7科目中、「学生による授業評価」は7科目、「教員のFD活動レポート」は4科目が提出された。後者の4科目について両者を比較してみよう。

| 質問項目 (学生による授業評価) | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 10 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学生による評価 | 3.6 | 3.1 | 3.2 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.3 |
| 教員の自己評価 | 4 | 2.8 | 3.3 | 2.8 | 2.8 | 3.0 | 3.0 |

この結果をグラフにする。



このグラフを見ると、質問3(シラバス)は教員の自己評価の方が高く、質問5(話し方)と8(予習復習)はほぼ一致しており、その他は学生による評価の方が高いことが分かる。

専門基礎科目の場合、教員の自己評価よりも学生による評価の方がやや高い傾向にある。

第4章 教員のFD活動レポート

2004年度(平成16年度)前学期から初めての試みとして各科目の担当教員に自分の授業を振り返るための「FD活動レポート」を提出してもらっている。(FD活動レポートの用紙は4ページに掲載した。)

FD活動レポートは2つの部分からなる。即ち、A欄の「授業方法・内容に関する質問」とB欄の「今後のFD活動プラン」の2つの部分である。A欄は「学生による授業評価」の質問項目3～10に相当する。B欄はB9「授業方法の改善に関するプラン」B10「授業内容の充実強化に関するプラン」B11「FD活動への助成に関する意見」の3つの質問からなる。

第3章ではA欄の質問項目への教員自身による回答と「学生による授業評価」における同じ質問への学生の回答を比較した。本章ではA欄の自由記述およびB欄を取り上げる。

【1】授業方法や授業内容について

FD活動レポートのAの自由記述欄に記入された意見を以下に紹介する。

自由記述欄に授業の実態が具体的に現れている。

A1「シラバスに沿って授業を行えた。」(学生による授業評価の質問3に対応)

- ・40名くらいを考えていたので、50名を越えた時点で変えざるを得なかった。
- ・前半雨が続きやる気が失せるのが分かった。(健康スポーツ科学)
- ・一般的な文学理論と個別特定作家とを合わせ話してゆくのは難しかった。後の席で私語があったりして少しシラバスを修正しながら話していった。

A2「学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。」(質問4に対応)

- ・難しいことは話さない。却ってそれが不評をかうのであろうかと思ったりする。

A3「話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。」(質問5に対応)

- ・板書の仕方にもう一工夫必要。
- ・活動が変わる場面では全員を集めて説明した。
- ・全員に熟知させるのは難しいので、資料を作りいつでも見ることができるようにした。
- ・テレビの使えない部屋だった。
- ・できるだけ後方の学生にも見えやすいように板書を心がけたつもりではあったが、やはり受けている学生の立場からは「見えにくい」という意見も少なくなく、改善の努力が足りなかった。
- ・板書の文字や板書方法には、これまで工夫をしてきたが、さらに理解を助けるための図解に際して、絵心のなさも相まって、イメージ通りの図を描くことに限界を感じた。学生の指摘もこの点に集中しており改善の必要性を感じる。今後はパワーポイントを利用することにより、これについては特に問題なくなるはずである。
- ・余裕がなくなると板書がやや汚くなった。
- ・板書が良くないのは重ね重ね反省している。

A5「学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。」(質問7に対応)

- ・面白さに関しては評判がよかった。
- ・できるだけ具体事例を出すように心掛けてはいるが、まだ不十分である。
- ・少人数なので個々の学生に積極的にもう少し質問など試みるべきだったかと思う。

A6「授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。」(質問8に対応)

- ・復習内容は指示していない。
- ・授業以外でも運動するように勧めた。(健康スポーツ科学)
- ・実際問題として多くの授業を受けバイトもあつたりで、寝る時間がなくなるので、授業のはじめとおわりに簡単に再話する程度に止めて宅習課題はさしひかえている。
- ・すべての授業が課すと物理的に不可能なのでセーブした。
- ・この科目では課題を課す必要はないと考えている。
- ・時間的余裕がないときは参考文献を紹介できなかった。
- ・あまり課題を出していない。今後取り組んで行きたい。
- ・他教員とのかね合いを考えると実施が難しい。

全体的に

- ・ほとんど暖房が効かなくてとにかく寒かった。吹雪の日にストーブなし(構造的?)はとでもつらい!
- ・教室のマイクが何度も機能しなかった。修理を頼んでも改善されなかった。
- ・受講生の数を減らして欲しい。後に座っている学生は話しをしてしまう。
- ・室内の温度が冬は寒過ぎたりして、学生の学習に支障をきたした。
- ・寒かった。

【2】FD活動プラン

FD活動レポートのB欄では今後のFD活動に関して意見を求めた。

B9「授業方法の改善に関して今後のFD活動プランとしてどのような活動を予定しているか。」(複数回答あり。)

| | |
|-----------------------|-----|
| ①他教員の授業参観 | 35名 |
| ②学内外のFD講演会・事例研修会等への参加 | 43名 |
| ③FD関連書籍・レポートの閲読・卒読 | 51名 |
| ④その他 | 17名 |

「④その他」として以下のような記述があった。

- ・もっとクラス時間が欲しい。
- ・クラスサイズを小さくしなければどんなFDも無意味。
- ・クラスサイズを小さくしなくては、81人では効果少ない。
- ・ドイツ語教育の学会誌を読む。
- ・テキストの選び方に注意が必要。授業の準備時間を増やすこと。
- ・自己反省。
- ・音楽設備の改善。
- ・レジュメの再整理。板書案の作成。口頭論点の整理。
- ・個人HPの授業への活用を充実させる。
- ・時間的余裕がない。
- ・Textを見て練習問題を再度点検。
- ・重要ポイントをよりわかりやすく説明したい。
- ・小学校の授業参観。
- ・学内外への授業の公開。

B10「授業内容の充実・強化に関して今後のFD活動プランとしてどのような活動を予定しているか。」(複数回答あり。)

| | |
|-------------------|-----|
| ①学会誌・紀要等への論文執筆や発表 | 26名 |
| ②関連書籍等の閲読・卒読 | 78名 |
| ③教科書・参考書等の執筆・出版 | 18名 |
| ④その他 | 10名 |

「④その他」として以下のような記述があった。

- ・試験問題を公開すること。
- ・経験を積むこと。

- ・シラバスの再検討。
- ・パワーポイントの導入。
- ・取材。

B11「FD活動に対する助成の必要性の有無。」

- ①必要あり。……………34名
- ②特に必要なし。……………66名

「①必要あり」とする理由としては以下のような意見があった。

- ・学生のレベルにあわせた教育の必要性をよりよく知るために。
- ・一般教育学会等での実践報告は参考になる。
- ・FD研修会の充実化。
- ・相互交流の機会が欲しい。
- ・授業評価結果に基づく教員と学生の意見交換等。
- ・FD関連の書籍購入のための研究費があればありがたい。
- ・教室の教育機器の充実。
- ・取材のための旅費。
- ・医学教育準備コアカリキュラムの周知徹底の必要性。

以上の回答から次の傾向が読み取れる。

1. 授業方法の改善に関して多様なプランが考えられている。
2. 授業内容の充実のための手段として関連書籍の閲読・卒読を予定している教員が最も多い。
3. FD活動への助成は特に必要ないとする教員が多い。

【3】自分の授業の評価点・反省点

自分の授業の「評価できる点, 反省すべき点」について記入してもらった。個々の科目群ごとに紹介する。同じ科目群を担当する教員にとって大いに参考になると思われる。

授業担当教員のなまの書かれている。

(1) 英語およびコミュニケーション英語

- ・授業は楽しくやれた。準備なども大変だったが何とかやれた。15回では少ない。
- ・或る程度授業のねらいは達成できた。学生の意欲や関心をかきたてるには至らなかった。それが今後改善を要する点である。
- ・今年は例年以上に学生との信頼関係がうまく行き、学生のニーズや要望を授業に組み込むことができたことが好評の理由ではないか。
- ・学生が受身の受講態度にならない工夫の一つとして毎回5名程度の学生に自分で興味ある英文記事を探させ報告させ最後にはレポートとして提出させるという活動を行なった。話し方や板書の技術には改善の余地がある。
- ・学生のレベルが様々なのでどこに焦点をおくべきかをもう少し考慮すべきであった。担当箇所は心済みな訳をきちんとしていたことはよかった。
- ・学力差に対応した課題や授業プロジェクトに配慮したが、基本的な力不足を学習量でカバーしようと試みたため、少しずつ継続して学習できない学生が最後でかなり苦労した印象を持った。非常勤なので日々のケアがいきとどかないためサポートの方法を考えていかなければならない。学生が利用できるGraded Readersなどの多読教材をたくさん図書館に入れていただけるとよい。
- ・他の先生が留学されるということで、学期の途中から急遽担当した。シラバスや教材等をゆっくり考えたり研究したりする時間がなかった点が残念である。
- ・問診に関するエジンバラ大学の学部生用テキスト論文を教材として用いた。私の専門分野を生かして教えることができたことはよかった。
- ・学習への取り組みを積極的に行なえるよう自分なりに工夫を凝らしたが、英語の得意な学生には物足りなさがあるかもしれない。居眠りする学生をゼロにできなかったのは残念だった。「コミュニケーション英語」という科目名と実態にはギャップがあった。
- ・前期の担当者の授業を引き継いだのでやりにくかった。
- ・評価できるのは生徒のneedsを生徒たちに尋ねたり満足度をうかがいながら授業を組み立てたこと。反省すべき点は、あれも教えたい、これも練習させたい、と盛りだくさんになって消化不良になった生徒がいたかもしれない点。
- ・学生間の能力に差が見られたので、予習用の資料作りにもう一工夫すべきだった。テキストを消

- 化することが精一杯でありあまりコミュニケーションな授業とはいえなかった。
- ・授業がやや単調すぎるようなところがあったように思う。
 - ・各unitごとにQuizを実施しTextの復習に重点を置いた。

(2) 初修外国語

- ・このクラスは92人だったが、「語学クラスで92人なんて冗談としか思えない」とドイツ人に言われた通りで、効果的な授業は不可能。第二語学の教員定員を増やして小さなクラスにすることが第一だと思う。
- ・ドイツ文の訳を板書するのは本意ではないが、どのクラスのどの年度の授業評価でも好評なのでやむなく実施している。
- ・このクラスは80名を越えるサイズでまともな授業が難しい。特に工学部の学生には語学不得手の者が多いので参考書をテキストに使い自分でも復習できるようにした。西日本独文学会でも、宮大のクラスサイズは大き過ぎると参加した他のドイツ語教員に言われた。
- ・一生懸命授業に取り組んだが、授業内容が少し多かったようであり、学生は大変だったと思う。
- ・授業の進め方、内容等について他の先生と話し合った。

(3) 健康スポーツ科学

- ・専用のゴルフ練習場が学内に設置されればより充実した授業が展開できるものと思われる。
- ・内容によっては男女共習が困難な場合もあるため、個々に対応した内容や場の設定を検討する必要がある。
- ・実習(実技)ということではいくつか困難を感じたが、おおよそ目標に達成できた。
- ・15回を3期に分け、最初の5回は初心者の指導を中心とした。そして、ラリーがなんとか続くようになった時点でグループを再編し主体的に活動ができるようにした。ラストの5回は毎回対戦相手を変えて2ゲームを課し、交流を深めながらテニスの特性に気づいてもらった。こうした方法(アドバイスを受ける)を取り入れたことで経験者にも意味のある学習にすることができた。
- ・雨の日が多く十分な活動量を保障できなかった。
- ・学生個々が毎回実習を行なうためにその都度満足のいく内容や環境を設定するのに困難を感じた。良い方法を今後検討したい。
- ・テニス経験者に応援を頼み初心者の指導を工夫した。
- ・野球部員やソフトボール経験者にアドバイスを求めた。
- ・広いグラウンドの南と北に分かれてゲームが同時進行するので、教官が指示しなくても主体的にゲームを進めることができるよう工夫した。また、他課程との交流も大事なのでチーム分けには気を使った。毎回活動を評価しチームだけでなく個人も活動が高まるよう提示した。

(4) 主題教養科目

- ・ほぼ毎回リアクションペーパーに授業に対する質問を書かせ、できるだけそれに答える形で次

の授業を行った。学生の方はできるだけ楽をして受け身で理解できると思い込んで授業にのぞむ傾向がしだいに強くなっている。全学生の半数くらいが最初からそのように見えた。授業の理解に進む前に国語力の不足が目立った。学生のレベルを考えながら次回から講義を組み直す必要を感じた。

- ・今年度から新たに始まった科目なのでうまくいか不安だったが、大きな失敗はしなくてすんでようだ。いくつか改善点も分かったので2年目は少し修正していく予定である。ともかく無事に終わってほっとしている。
- ・多人数であったということはあるつつも、もっと学生ひとりひとりのニーズに応えられるような工夫を考えなくてはならないと感じた。グループワークや毎回のオピニオンカードの提出等を試みたが、机と座席が固定式だったこともあり、フレキシブルな授業構成へのさらなる努力をしなければならぬ。
- ・初めてやった講義分野だったので(大学院では2年ほど経験済み)シラバス通りにはいかず、またどの学部の学生に合わせたらいかが分からずしんどかった。来年はポイントを明確にしてすっきりした講義にしたい。
- ・部分的には学会発表し得るレベルのものを含んでいるのであるが、学生の興味とのマッチングをとることが難しいように思われる。長年、工学部学生相手の授業を続けて来たが、珍しく農・教の学生相手となった。予め学務部と教員との事前の打ち合わせがあれば良かった。
- ・美術鑑賞教育のワークシート方式を採用し、学生に作業を課すようにしている。分かりやすい授業、そして楽しい授業に流れることが、学習内容の簡略化およびレベルの低下につながっていないかどうか検討する必要がある。
- ・150人を対象とする授業であり、音楽を聴く環境にはなかった前学期から、予算措置で多少の整備を行なってもらったが、十分な環境には至らなかった。やはり従来の音楽棟での100人に戻していただきたい。
- ・今回は授業1回1回の意見・感想欄に毎回朱で私のコメントを返し、受講生一人の全体の授業態度が分かるようにした所はよかった。
- ・受講票を持たせ、一人一人の学習歴を本人たちに確認させたのはよかった。
- ・L102教室の機器の誤作動はなんとかならないか。
- ・例年、理系学部は社会系科目に弱く意欲に乏しい傾向がある。教師の熱意に応えられる力量、学力…、気持ちだけでも欲しい。(欠席が多い。)
- ・興味を持ち「分かった」という学生と、興味を持たずついて来られなかった学生との格差が大きいようだ。どこが差か？ レジюмеに満足する学生と「ポイントが分からない」という学生の双方が出るのは何故か？ 何にポイントを絞れば現在の学生の生き方と関われるのか？ 欠席者が次第に増加し例年になく遅刻者に苦しんだ半年だった。
- ・政治に関心のない学生に関心を持たせることに精力の大半を使う。そのため政治事象の取り上げ方が偏っているなあと反省している。
- ・まったく法律学に興味関心がない学生にいかにか自身の問題として引きつけて考えられるようにするかに苦心した。不用意な専門用語の使用を排除してできるだけわかりやすい言葉でかみく

だいて説明しかつできうる限りの具体例を挙げるにより一定程度の効果を得られたように思う。

- ・少人数なので学生一人一人の理解度を見ながら授業ができた。
- ・今回新しい教材に挑戦した。目標は計算や公式ではなく考え方を中心としたがその点はある程度満足いくものができた。ただ題材の工夫や学生への課題の提示などについては今後取り組んでいきたい。
- ・化学系の教員は他学科他学部向けの授業として「基礎化学」「応用化学概論」「物質の科学T(1)」「工学と私達の生活」を開講しているが、その内容の割り振りは判然としない。授業をやる方も非常にやりにくい。同種の開講科目数を減らして同一科目のコマ数を増やし、対象学科分野をせばめた授業を実施する方が実効があがると思われる。
- ・他のセンター職員に比べ授業が多い。他の担当者を開拓して選択教養を止めても良いようにしていただけるとありがたい。
- ・(説明のための)図を多用した。
- ・内容が盛り沢山なため少なめにする必要がある。工学部指定なので数式や物理を使うが、理解度の低い学生集団が混ざっている。

(5) 選択教養科目

- ・この講義は私の持っている講義の中で最もうまく行っているものである。だから学部を問わずより多くの学生に受講して欲しいが(受講していただければ満足していただけると信じているが)、「現代社会と基礎理論」という科目名が分かりにくいのか受講数が少なくて残念である。(私は500人くらいが適切なクラスサイズだと考える。)
- ・基本的なことをていねいにやさしく教えた。時には簡単な実験も入れて学生の興味をつなぐようにした。
- ・受講登録者22人中、1回も出席しない者5人。欠席遅刻が多い者6人。毎回注意しても眠っている者3~4人。学習意欲は感じられなかった。毎回授業の終わりに小テストをし添削して返した。授業内容から一つの課題に3点ほど書いてもらうものだが1点書いたら安心して3点そろろう者はほとんどいなかった。でも高校からの習慣か、小テストだけは熱心に取り組んでいたようである。小テストの添削は時間をかけて行ない、受講生も熱心に取り組んだが、これを通して受講態度を改善させるという意図は失敗に終わった。化学の基礎知識が不足している、人の話を集中して聞けない、学生が多くなっている。これに対する対策が難しい。
- ・学生に能力の差があり、どのレベルに焦点を置か難しい。すなわちどこで妥協するか判断が難しい。図学は一貫性があるため、休んだ学生には筋道を通じない面がある。
- ・辞書を用いてドイツ文を理解させるために文章を色チョークで構造を示すなどの方法を採用判りやすく教えることができた。取り上げた教材が少し長過ぎたので全部読み切れなかった点を反省している。
- ・実習(実技)としての目標は達成できたと思うが、より理論的な部分への対応が課題である。

- ・毎年後期は受講生が少なく、運営上非常に浪費的である。講義の統廃合を進め剰余を他の新規開講等に回すのが望ましい。
- ・教室を実習室にかえたのが問題だったかもしれない。
- ・100人以上の大人数の授業ではどうしても学生のエスケープや後部席の私語が発生。しかしこの授業は少人数で一人一人に話しがゆきとどくので、ある程度所期の計画がとどこおりなく進み、この点は良かった。毎回毎回1点集中(ポイント化)ではなくて、学生の教養本位に拡散的授業を試みるのであるが、話のポイントがつかみ難くて面白くないという学生の意見あり。(反省。)
- ・単位だけほしくて学問に興味のない学生の受講は他の学生の迷惑になるのでことわりたいたいというのが本音である。(特に選択科目でもあるので。)
- ・全体として教える内容がやや多すぎてポイントがぼやけたかもしれない。また後半ではやや難しい内容もとりあげたためもともと興味があった学生以外授業についてゆくのが苦しかったかもしれない。しかし、少数の学生でもこちらの熱意が伝わったようだったのがよかった。
- ・かなり易しい授業を行ったつもりだったが、学生からはとても難しいとの声もあった。次年度は講義内容の変更によって改善したい。
- ・自己表現と論理的思考、主体的学習意欲を育てることを主目標とした。学生のとりくみは非常によかった。情報教室にビデオなどのAV機材があるとよい。
- ・医学部医学科生が(単位の性格上)構造的に後期授業が取れないためか、期待したお客は来ず、受講者は3人(看, 教, 農)だった。来年度は医学部看護学科に焦点を絞ってシラバスを作りたい。(もちろん内容的には他学部でも通用する。)
- ・本講義は客員教授や学外の企業等の方のオムニバス形式とし、特に特許やリエゾン活動について紹介頂いた。次年度もこの形式とし魅力ある講義とすると共に学外の関係方面に公開することも検討したい。
- ・大学統合後の受講生のレベルの多様化に充分対応出来ていたか前期の疑問は残る。後期には少人数の受講生相手により濃密な教育を行えた。
- ・今年度は相当努力し、新しい方法や資料も取り入れてやったので満足しているが、学生の反応はいまひとつであったように思う。授業の難しさを痛感した。

(6) 専門基礎科目

- ・今回の授業はパワーポイントを多用したが、少し説明が早いようだった。板書との連携で分かりやすい授業にしていきたい。
- ・AV機器を利用した授業が十分できなかった。
- ・旧宮崎医大では専門基礎科目として「分子科学」「有機化学」「生体無機化学」の3科目があったが、教員定員が1人減となり、共通教育科目が3科目負担増となったことから今年度は「有機化学」のみの開講となった。この中で医学教育準備コアカリキュラムを出来るだけ盛り込もうとしたが十分とは言えず、納得のいくものではなかった。また過半数の学生がテキストを購入せず、講義が思うように進められなかった。

【4】学生による授業評価およびFD活動レポートについて

「学生による授業評価」や「FD活動レポート」について以下のような意見が記入された。

- ・多教員によるオムニバス形式の授業にこの活動レポートではあまり適切ではない。
- ・このレポートを書かせたことを、授業改善の次のステップにどうつなげるつもりなのか、分からない。学生の心に迫り切れず苦しんでいる点は多々あるが、現在の共通教育FDはそれにどういう道筋で応えてくれるのか見えない。私個人は分野の交流会を当面希望する。
- ・この授業評価を実施しない教員に対して厳しい批判をすべきだろう。教師の評価にしないという原則は分かるが、随分ひどい授業をしている教員の話が学生がチクって来る。善処をお願いします。
- ・施設の状況や受講環境(受講者数等)をアンケートの他項目と同列に並べて質問するのは不適切である。冷暖房施設の充実度や受講者数の多寡は教員個人の努力で改善しうるレベルの問題ではない。

第5章 科目ごとのデータ一覧

以下に前学期のすべての共通教育科目(207科目)のデータを掲載する。科目区分は記したが、科目名・担当教員名は掲載しない。また、科目の順番は質問10(満足度)への評価の高い順に並べ直してある。また、学生による授業評価が実施されなかった科目数を欄外に記載した。

【1】英語(25科目)

| No. | 質問 1 | 質問 2 | 質問 3 | 質問 4 | 質問 5 | 質問 6 | 質問 7 | 質問 8 | 質問 9 | 質問 10 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1 | 4 | 3.8 | 3.7 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 3.8 | 3.9 |
| 2 | 4 | 3.6 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.9 | 3.6 | 3.8 | 3.8 |
| 3 | 3.9 | 3.1 | 3.5 | 3.5 | 3.3 | 3.1 | 3.2 | 3.5 | 3.8 | 3.6 |
| 4 | 3.8 | 3.1 | 3.5 | 3.8 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 2.4 | 3.3 | 3.6 |
| 5 | 4 | 3.3 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.5 | 3.3 | 2.3 | 3.7 | 3.5 |
| 6 | 4 | 3.5 | 3.6 | 3.3 | 3.4 | 3.2 | 3.1 | 3.6 | 3.7 | 3.5 |
| 7 | 3.9 | 3.6 | 3.5 | 3.4 | 3.6 | 3.3 | 3.4 | 2.9 | 3.7 | 3.5 |
| 8 | 4 | 3.7 | 3.8 | 3.5 | 3.6 | 3.5 | 3.5 | 3.4 | 3.8 | 3.5 |
| 9 | 3.9 | 3.7 | 3.9 | 3.7 | 3.7 | 3.7 | 3.3 | 3.6 | 4 | 3.5 |
| 10 | 3.9 | 3.6 | 3.7 | 3.5 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 3.1 | 3.6 | 3.4 |
| 11 | 3.9 | 3.5 | 3.8 | 3.6 | 3.4 | 3.3 | 3.3 | 3.6 | 3.7 | 3.4 |
| 12 | 3.8 | 2.9 | 2.9 | 3.4 | 3.4 | 3.1 | 2.8 | 2.5 | 3.3 | 3.3 |
| 13 | 3.8 | 3.3 | 3.0 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 3.0 | 3.4 | 3.3 | 3.3 |
| 14 | 3.9 | 3.3 | 3.6 | 3.4 | 3.3 | 3.1 | 3.0 | 3.5 | 3.6 | 3.2 |
| 15 | 3.9 | 3.5 | 3.5 | 3.6 | 3.3 | 3.2 | 2.9 | 3.6 | 3.4 | 3.2 |
| 16 | 3.9 | 3.3 | 3.5 | 3.4 | 3.2 | 3.1 | 3.1 | 3.2 | 3.2 | 3.2 |
| 17 | 4 | 3.7 | 3.5 | 3.3 | 2.9 | 2.8 | 2.5 | 3.7 | 3.6 | 3.0 |
| 18 | 3.9 | 2.8 | 3.5 | 3.1 | 2.6 | 2.7 | 2.6 | 3.0 | 3.6 | 3.0 |
| 19 | 3.9 | 3.4 | 3.6 | 3.0 | 3.1 | 2.8 | 2.7 | 3.0 | 3.5 | 3.0 |
| 20 | 3.9 | 3.3 | 2.9 | 3.0 | 3.1 | 2.9 | 2.8 | 3.2 | 3.4 | 3.0 |
| 21 | 4 | 3.9 | 3.5 | 3.0 | 3.1 | 3.2 | 2.7 | 3.4 | 3.5 | 2.9 |
| 22 | 3.8 | 3.4 | 3.7 | 2.8 | 3.0 | 3.1 | 2.6 | 3.2 | 3.5 | 2.9 |
| 23 | 4 | 2.7 | 3.0 | 2.8 | 2.9 | 2.7 | 2.5 | 2.3 | 3.6 | 2.8 |

※なお、2科目が学生による授業評価を実施していない。

【2】コミュニケーション英語(28科目)

| No. | 質問 1 | 質問 2 | 質問 3 | 質問 4 | 質問 5 | 質問 6 | 質問 7 | 質問 8 | 質問 9 | 質問 10 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1 | 3.9 | 3.9 | 4 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.9 | 3.8 | 3.9 | 3.9 |
| 2 | 4 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.7 | 3.5 | 3.7 | 3.5 | 3.7 | 3.8 |
| 3 | 3.9 | 3.6 | 3.6 | 3.7 | 3.9 | 3.7 | 3.8 | 3.6 | 3.8 | 3.8 |
| 4 | 4 | 3.7 | 3.7 | 3.8 | 3.8 | 3.4 | 3.8 | 3.6 | 3.8 | 3.8 |
| 5 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.7 | 4 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 3.8 |
| 6 | 3.9 | 3.4 | 3.7 | 3.4 | 3.5 | 3.2 | 3.4 | 3.2 | 3.8 | 3.7 |
| 7 | 4 | 3.8 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 3.7 | 3.7 | 3.5 | 3.6 | 3.7 |
| 8 | 3.9 | 3.3 | 3.7 | 3.5 | 3.5 | 3.3 | 3.5 | 3.7 | 3.8 | 3.6 |
| 9 | 4 | 3.3 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.4 | 3.3 | 3.6 | 3.8 | 3.6 |
| 10 | 4 | 3.7 | 3.7 | 3.5 | 3.6 | 3.4 | 3.3 | 3.6 | 3.7 | 3.6 |
| 11 | 4 | 3.5 | 3.7 | 3.4 | 3.4 | 3.1 | 2.9 | 3.5 | 3.8 | 3.5 |
| 12 | 3.9 | 3.2 | 3.5 | 3.6 | 3.6 | 3.5 | 3.2 | 3.3 | 3.6 | 3.5 |
| 13 | 4 | 3.2 | 3.8 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 3.3 | 3.6 | 3.9 | 3.4 |
| 14 | 4 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.3 | 3.1 | 2.9 | 3.4 | 3.9 | 3.2 |
| 15 | 3.9 | 3.0 | 3.0 | 3.2 | 3.3 | 3.3 | 3.1 | 2.9 | 2.9 | 3.2 |
| 16 | 4 | 3.0 | 3.6 | 3.3 | 3.5 | 3.1 | 2.8 | 3.4 | 3.6 | 3.1 |
| 17 | 3.8 | 2.9 | 3.2 | 3.0 | 2.5 | 2.6 | 2.6 | 2.8 | 3.2 | 2.9 |
| 18 | 3.9 | 3.2 | 3.2 | 2.6 | 2.8 | 2.6 | 2.3 | 3.2 | 3.3 | 2.7 |
| 19 | 3.0 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.9 | 1.7 | 1.7 | 2.0 | 2.6 | 1.7 |

※なお、9科目が学生による授業評価を実施していない。

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階評価である。

質問1と2は学生自身についての質問。質問1は「75%以上の出席」質問2は「授業への真剣な取り組み」。質問3～8は教員の教え方についての質問。3「シラバスに沿った授業」、4「学生のレベルを踏まえた授業」、5「話し方、板書、機器の使用法」、6「重要ポイントの明示」、7「学習意欲を掻き立てた」、8「予習復習を課した」。質問9は「学習環境」。質問10は総合的に「満足できる授業だった」か否か。

【3】初修外国語(38科目)

| No. | | 質問 1 | 質問 2 | 質問 3 | 質問 4 | 質問 5 | 質問 6 | 質問 7 | 質問 8 | 質問 9 | 質問 10 |
|-----|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1 | 独語 | 3.9 | 3.6 | 3.5 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.3 | 3.7 | 3.7 | 3.6 |
| 2 | 独語 | 3.8 | 3.6 | 3.6 | 3.5 | 3.7 | 3.5 | 3.2 | 3.1 | 3.7 | 3.6 |
| 3 | 独語 | 4 | 3.6 | 3.7 | 3.4 | 3.3 | 3.1 | 3.5 | 3.6 | 3.8 | 3.6 |
| 4 | 独語 | 3.9 | 3.3 | 3.6 | 3.4 | 3.5 | 3.5 | 3.1 | 3.1 | 3.6 | 3.6 |
| 5 | 中国語 | 3.9 | 3.6 | 3.6 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 3.5 | 3.5 | 3.8 | 3.6 |
| 6 | 中国語 | 3.9 | 3.3 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.7 | 3.4 | 3.0 | 3.7 | 3.6 |
| 7 | 中国語 | 4 | 3.7 | 3.8 | 3.7 | 3.5 | 3.5 | 3.3 | 3.6 | 3.8 | 3.5 |
| 8 | 中国語 | 3.9 | 3.5 | 3.8 | 3.5 | 3.3 | 3.4 | 3.3 | 3.6 | 3.7 | 3.5 |
| 9 | 中国語 | 3.9 | 3.3 | 3.5 | 3.6 | 3.4 | 3.5 | 3.2 | 2.8 | 3.6 | 3.5 |
| 10 | 独語 | 4 | 3.6 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 2.9 | 3.3 | 3.5 | 3.8 | 3.4 |
| 11 | 独語 | 4 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.5 | 3.1 | 3.0 | 3.1 | 3.6 | 3.4 |
| 12 | 独語 | 3.6 | 3.3 | 3.4 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 3.0 | 3.3 | 3.5 | 3.4 |
| 13 | 独語 | 3.9 | 3.2 | 3.3 | 3.5 | 3.3 | 3.6 | 3.1 | 3.5 | 3.5 | 3.4 |
| 14 | 中国語 | 3.9 | 3.5 | 3.6 | 3.5 | 3.2 | 3.2 | 3.1 | 3.5 | 3.6 | 3.4 |
| 15 | 中国語 | 3.9 | 3.4 | 3.7 | 3.8 | 3.5 | 3.5 | 3.3 | 3.3 | 3.6 | 3.4 |
| 16 | 独語 | 3.8 | 3.0 | 3.3 | 3.4 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 2.7 | 3.5 | 3.3 |
| 17 | 仏語 | 3.9 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.5 | 3.3 | 3.3 | 3.5 | 3.8 | 3.3 |
| 18 | 中国語 | 3.9 | 3.6 | 3.4 | 3.6 | 3.2 | 3.3 | 3.1 | 3.0 | 3.7 | 3.3 |
| 19 | 中国語 | 4 | 3.5 | 3.4 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.0 | 3.2 | 3.6 | 3.2 |
| 20 | 中国語 | 4 | 3.6 | 3.3 | 3.1 | 3.0 | 2.8 | 2.8 | 3.2 | 3.3 | 3.2 |
| 21 | 独語 | 3.8 | 3.1 | 3.4 | 3.3 | 2.9 | 2.8 | 2.7 | 2.8 | 3.5 | 3.0 |
| 22 | 独語 | 4 | 3.5 | 3.4 | 3.4 | 2.9 | 2.8 | 2.7 | 2.9 | 3.5 | 3.0 |
| 23 | 独語 | 3.6 | 3.4 | 3.1 | 2.9 | 2.8 | 2.6 | 2.7 | 2.9 | 3.3 | 3.0 |
| 24 | 独語 | 4 | 3.5 | 3.4 | 3.4 | 2.9 | 2.8 | 2.7 | 2.9 | 3.5 | 3.0 |
| 25 | 仏語 | 3.8 | 3.1 | 3.5 | 3.0 | 3.3 | 3.2 | 2.5 | 2.8 | 3.5 | 3.0 |
| 26 | 中国語 | 3.8 | 3.4 | 3.4 | 3.2 | 2.7 | 2.7 | 2.7 | 3.1 | 3.6 | 3.0 |
| 27 | 仏語 | 4 | 3.1 | 3.2 | 2.9 | 2.7 | 3.0 | 2.8 | 3.2 | 3.5 | 2.9 |
| 28 | 中国語 | 3.9 | 3.4 | 3.1 | 2.9 | 2.8 | 2.7 | 2.8 | 3.5 | 3.5 | 2.9 |
| 29 | 仏語 | 3.9 | 2.8 | 3.3 | 2.5 | 2.9 | 2.8 | 2.4 | 2.7 | 3.4 | 2.7 |
| 30 | 中国語 | 3.9 | 3.4 | 3.3 | 3.1 | 2.7 | 2.8 | 2.6 | 3.2 | 3.5 | 2.7 |
| 31 | 仏語 | 3.8 | 3.0 | 2.8 | 2.2 | 2.3 | 2.2 | 2.2 | 2.5 | 3.4 | 2.3 |

※なお、7科目が学生による授業評価を実施していない。

【4】保健体育(25科目)

| No. | 質問 1 | 質問 2 | 質問 3 | 質問 4 | 質問 5 | 質問 6 | 質問 7 | 質問 8 | 質問 9 | 質問 10 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1 | 4 | 4 | 3.9 | 4 | 3.8 | 3.9 | 3.9 | 3.4 | 3.8 | 4 |
| 2 | 4 | 4 | 3.9 | 4 | 3.9 | 3.8 | 3.7 | 3.3 | 3.6 | 3.9 |
| 3 | 3.9 | 3.6 | 3.8 | 3.8 | 3.6 | 3.7 | 3.7 | 3.5 | 3.9 | 3.9 |
| 4 | 4 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.9 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.9 |
| 5 | 3.9 | 4 | 3.8 | 4 | 3.6 | 3.6 | 3.8 | 3.3 | 3.6 | 3.9 |
| 6 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.3 | 3.7 | 3.9 |
| 7 | 4 | 3.7 | 3.9 | 3.9 | 4 | 3.6 | 3.5 | 2.5 | 3.6 | 3.8 |
| 8 | 4 | 3.8 | 3.8 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.7 | 2.9 | 3.8 | 3.8 |
| 9 | 3.9 | 3.8 | 3.6 | 3.7 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 2.8 | 3.5 | 3.8 |
| 10 | 4 | 3.8 | 3.8 | 3.9 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 2.9 | 3.8 | 3.8 |
| 11 | 3.7 | 3.8 | 3.6 | 3.6 | 3.5 | 3.4 | 3.7 | 3.3 | 3.4 | 3.8 |
| 12 | 4 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.4 | 3.6 | 3.8 |
| 13 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.9 | 3.6 | 3.7 | 3.7 | 3.2 | 3.5 | 3.8 |
| 14 | 4 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.7 | 3.8 | 3.3 | 3.7 | 3.8 |
| 15 | 3.8 | 3.8 | 3.5 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 3.6 | 3.1 | 3.3 | 3.7 |
| 16 | 4 | 3.9 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 3.5 | 3.7 | 3.1 | 3.6 | 3.7 |
| 17 | 4 | 3.6 | 3.5 | 3.4 | 3.5 | 3.6 | 3.4 | 2.7 | 3.5 | 3.7 |
| 18 | 3.9 | 3.7 | 3.5 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 2.7 | 3.7 | 3.7 |
| 19 | 3.9 | 3.9 | 3.7 | 3.7 | 3.5 | 3.4 | 3.4 | 3.2 | 3.7 | 3.6 |
| 20 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.6 | 3.7 | 3.4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.6 |

※なお、5科目が学生による授業評価を実施していない。

【5】主題教養科目(37科目)

| No. | | 質問 1 | 質問 2 | 質問 3 | 質問 4 | 質問 5 | 質問 6 | 質問 7 | 質問 8 | 質問 9 | 質問 10 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1 | 社会と倫理 | 3.9 | 3.9 | 4 | 3.7 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.3 | 3.9 | 3.9 |
| 2 | 人間と文化 | 4 | 3.4 | 3.6 | 3.7 | 3.7 | 3.4 | 3.6 | 2.6 | 3.3 | 3.8 |
| 3 | 社会と倫理 | 3.9 | 3.4 | 3.7 | 3.2 | 3.7 | 3.5 | 3.5 | 3.3 | 3.5 | 3.7 |
| 4 | 人間と文化 | 3.9 | 3.2 | 3.5 | 3.7 | 3.6 | 3.3 | 3.5 | 2.9 | 3.2 | 3.6 |
| 5 | 社会の課題 | 3.7 | 3.2 | 3.9 | 3.8 | 3.6 | 3.8 | 3.3 | 2.5 | 3.3 | 3.6 |
| 6 | 自然と生命 | 3.8 | 3.3 | 3.7 | 3.5 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.2 | 3.3 | 3.6 |
| 7 | 人間と文化 | 4 | 3.6 | 3.6 | 3.7 | 3.7 | 3.4 | 3.5 | 2.7 | 3.4 | 3.6 |
| 8 | 社会の課題 | 3.9 | 3.1 | 3.5 | 3.5 | 3.1 | 3.3 | 3.4 | 2.7 | 3.7 | 3.5 |
| 9 | 人間と文化 | 4 | 3.5 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 2.9 | 3.5 | 3.5 |
| 10 | 人間と文化 | 4 | 3.7 | 3.4 | 3.4 | 3.1 | 3.3 | 3.2 | 2.9 | 3.1 | 3.4 |
| 11 | 社会と倫理 | 3.9 | 3.5 | 3.6 | 3.4 | 3.3 | 3.1 | 3.2 | 2.6 | 3.3 | 3.3 |
| 12 | 自然と生命 | 3.9 | 3.3 | 3.3 | 3.1 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 2.4 | 3.0 | 3.3 |
| 13 | 社会の課題 | 3.9 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.5 | 3.5 | 3.3 | 3.3 | 3.5 | 3.3 |
| 14 | 社会の課題 | 3.9 | 3.4 | 3.6 | 3.4 | 3.3 | 3.3 | 3.1 | 2.6 | 3.4 | 3.3 |
| 15 | 社会の課題 | 3.9 | 3.3 | 3.6 | 3.5 | 3.3 | 3.0 | 3.2 | 2.3 | 3.5 | 3.2 |
| 16 | 自然と生命 | 3.8 | 3.3 | 3.7 | 3.5 | 3.5 | 3.4 | 3.1 | 2.7 | 3.7 | 3.2 |
| 17 | 社会の課題 | 3.8 | 3.4 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 3.2 | 2.9 | 2.7 | 3.4 | 3.1 |
| 18 | 社会と倫理 | 3.8 | 3.3 | 3.5 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 2.7 | 3.3 | 3.0 |
| 19 | 社会の課題 | 3.9 | 3.0 | 3.5 | 3.2 | 2.8 | 2.8 | 2.9 | 2.4 | 3.7 | 3.0 |
| 20 | 社会の課題 | 3.9 | 3.1 | 3.5 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 2.8 | 2.5 | 3.6 | 3.0 |
| 21 | 自然と生命 | 3.8 | 3.2 | 3.5 | 3.1 | 2.9 | 2.8 | 2.7 | 2.5 | 3.3 | 2.9 |
| 22 | 社会と倫理 | 3.9 | 3.0 | 3.3 | 2.9 | 2.9 | 2.7 | 2.8 | 2.4 | 3.1 | 2.9 |
| 23 | 自然と生命 | 3.9 | 3.0 | 3.4 | 3.2 | 2.8 | 2.8 | 2.7 | 2.6 | 3.4 | 2.9 |
| 24 | 自然と生命 | 4 | 3.3 | 3.5 | 2.9 | 3.0 | 2.7 | 2.7 | 2.4 | 3.4 | 2.8 |
| 25 | 人間と文化 | 3.6 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 2.8 | 2.7 | 2.8 | 2.3 | 3.1 | 2.8 |
| 26 | 人間と文化 | 3.9 | 3.0 | 2.6 | 2.7 | 2.6 | 2.4 | 2.5 | 2.4 | 3.1 | 2.8 |
| 27 | 社会と倫理 | 3.8 | 3.2 | 3.5 | 2.7 | 2.8 | 2.4 | 2.6 | 2.3 | 2.5 | 2.8 |
| 28 | 社会と倫理 | 3.9 | 2.9 | 3.3 | 2.6 | 2.4 | 2.4 | 2.3 | 2.3 | 3.3 | 2.6 |
| 29 | 自然と生命 | 3.9 | 3.2 | 3.2 | 2.3 | 2.5 | 2.4 | 2.4 | 2.1 | 3.0 | 2.5 |
| 30 | 自然と生命 | 3.8 | 2.7 | 3.0 | 2.2 | 2.3 | 2.0 | 2.0 | 2.3 | 3.1 | 2.1 |
| 31 | 自然と生命 | 3.8 | 2.9 | 3.0 | 1.6 | 2.5 | 1.9 | 2.0 | 2.3 | 3.3 | 2.0 |
| 32 | 社会と倫理 | 3.9 | 3.4 | 2.8 | 1.8 | 1.6 | 1.8 | 1.7 | 2.7 | 3.1 | 1.8 |

※なお、5科目が学生による授業評価を実施していない。

【6】選択教養科目(42科目)

| No. | | 質問 1 | 質問 2 | 質問 3 | 質問 4 | 質問 5 | 質問 6 | 質問 7 | 質問 8 | 質問 9 | 質問 10 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1 | 文化社会系 | 4 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.0 | 3.8 | 3.5 | 2.8 | 3.3 | 4 |
| 2 | 外国語系 | 4 | 4 | 4 | 3.7 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3.7 | 4 |
| 3 | 生涯学習系 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.4 | 3.5 | 3.7 | 2.9 | 3.5 | 3.8 |
| 4 | 外国語系 | 4 | 4 | 3.8 | 4.1 | 3.7 | 3.4 | 3.5 | 2.8 | 3.8 | 3.8 |
| 5 | 生涯学習系 | 3.9 | 3.8 | 3.6 | 3.8 | 3.8 | 3.5 | 3.7 | 3.4 | 3.7 | 3.7 |
| 6 | 科学技術系 | 4 | 3.8 | 4 | 3.8 | 3.5 | 3.5 | 3.1 | 2.5 | 3.5 | 3.7 |
| 7 | 複合学際系 | 4 | 3.4 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.7 | 3.3 | 2.4 | 3.9 | 3.7 |
| 8 | 生命科学系 | 3.9 | 3.5 | 3.8 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 3.5 | 2.4 | 3.6 | 3.6 |
| 9 | 科学技術系 | 4 | 3.9 | 3.6 | 3.3 | 3.1 | 3.0 | 3.0 | 2.7 | 3.7 | 3.6 |
| 10 | 科学技術系 | 4 | 3.0 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.5 | 3.3 | 3.5 | 3.6 |
| 11 | 外国語系 | 4 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.8 | 3.6 |
| 12 | 科学技術系 | 4 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.5 | 3.3 | 3.5 | 3.1 | 3.9 | 3.6 |
| 13 | 外国語系 | 4 | 3.6 | 3.4 | 3.1 | 3.4 | 3.6 | 3.3 | 3.1 | 3.7 | 3.6 |
| 14 | 文化社会系 | 3.9 | 3.3 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.5 | 3.4 | 2.4 | 3.4 | 3.5 |
| 15 | 文化社会系 | 3.9 | 3.6 | 3.3 | 3.5 | 3.6 | 3.0 | 3.2 | 2.3 | 3.4 | 3.5 |
| 16 | 生命科学系 | 3.9 | 3.6 | 3.6 | 3.5 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 2.9 | 3.4 | 3.5 |
| 17 | 複合学際系 | 4 | 3.7 | 3.6 | 3.4 | 3.8 | 3.5 | 3.7 | 2.9 | 3.8 | 3.5 |
| 18 | 文化社会系 | 4 | 3.5 | 3.7 | 3.7 | 3.5 | 3.5 | 3.3 | 3.1 | 3.7 | 3.5 |
| 19 | 生涯学習系 | 3.8 | 3.2 | 3.4 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | 3.3 | 2.6 | 3.5 | 3.4 |
| 20 | 複合学際系 | 3.9 | 3.1 | 3.7 | 3.7 | 3.5 | 3.2 | 3.2 | 2.5 | 3.2 | 3.4 |
| 21 | 複合学際系 | 3.8 | 3.0 | 3.6 | 3.4 | 3.8 | 3.4 | 3.3 | 2.3 | 3.7 | 3.4 |
| 22 | 文化社会系 | 3.8 | 3.5 | 3.8 | 3.4 | 3.1 | 3.5 | 3.6 | 2.5 | 3.3 | 3.4 |
| 23 | 文化社会系 | 4 | 3.6 | 3.7 | 3.4 | 3.7 | 3.5 | 3.5 | 3.4 | 3.7 | 3.4 |
| 24 | 文化社会系 | 3.9 | 3.1 | 3.4 | 3.5 | 3.0 | 3.2 | 3.0 | 2.5 | 3.3 | 3.4 |
| 25 | 科学技術系 | 3.9 | 3.5 | 3.5 | 3.4 | 3.6 | 3.4 | 3.3 | 2.9 | 3.7 | 3.4 |
| 26 | 科学技術系 | 3.6 | 3.1 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 3.0 | 3.2 | 3.0 | 3.3 | 3.3 |
| 27 | 文化社会系 | 3.9 | 2.9 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | 3.3 | 3.4 | 2.3 | 3.6 | 3.3 |
| 28 | 複合学際系 | 3.9 | 3.5 | 3.6 | 3.2 | 3.3 | 2.8 | 2.8 | 1.9 | 3.5 | 3.2 |
| 29 | 生命科学系 | 3.9 | 3.0 | 3.5 | 3.3 | 2.6 | 3.1 | 3.4 | 2.9 | 3.6 | 3.2 |
| 30 | 文化社会系 | 3.7 | 2.7 | 3.0 | 2.3 | 2.7 | 2.3 | 3.0 | 1.7 | 2.7 | 3.0 |
| 31 | 科学技術系 | 3.9 | 3.2 | 3.8 | 2.9 | 3.2 | 2.9 | 2.3 | 3.2 | 3.5 | 2.8 |
| 32 | 文化社会系 | 3.9 | 2.6 | 3.1 | 2.8 | 2.5 | 2.5 | 2.8 | 2.3 | 3.0 | 2.7 |
| 33 | 科学技術系 | 4 | 2.8 | 3.0 | 3.2 | 2.7 | 2.3 | 2.3 | 2.6 | 3.1 | 2.4 |
| 34 | 生命科学系 | 3.9 | 2.9 | 3.6 | 2.4 | 2.9 | 2.1 | 2.4 | 2.4 | 3.0 | 2.3 |

※なお、8科目が学生による授業評価を実施していない。

【7】専門基礎科目(7科目)

| No. | 質問 1 | 質問 2 | 質問 3 | 質問 4 | 質問 5 | 質問 6 | 質問 7 | 質問 8 | 質問 9 | 質問 10 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1 | 4 | 3.8 | 4 | 3.7 | 3.5 | 3.5 | 3.7 | 3.6 | 3.7 | 3.9 |
| 2 | 3.8 | 3.6 | 3.8 | 3.5 | 3.5 | 3.7 | 3.7 | 3.4 | 3.7 | 3.7 |
| 3 | 3.9 | 3.7 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.4 | 3.7 | 3.5 |
| 4 | 3.7 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 3.0 | 3.1 | 3.1 | 3.8 | 3.4 |
| 5 | 3.8 | 3.4 | 3.7 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | 3.0 | 2.8 | 3.5 | 3.2 |
| 6 | 3.8 | 3.1 | 3.8 | 3.1 | 3.3 | 3.2 | 2.8 | 2.9 | 3.5 | 3.1 |
| 7 | 4 | 3.1 | 3.6 | 2.5 | 2.8 | 2.6 | 2.6 | 3.1 | 3.4 | 2.8 |

第6章 本調査の今後の課題

「学生による授業評価」および「教員のFD活動レポート」に関して次のような課題が指摘され、本委員会にて検討中である。

(1) 外部評価に対応するように、質問項目を修正する必要がある。

→対応済み。2005年度(平成17年度)前学期実施分から質問項目を修正した。

(2) 外部評価に対応するために、学生による授業評価の回収率を現状の80%から100%へと向上させる必要がある。

→シラバス掲載率は現在、ほぼ100%を達成している。学生による授業評価も回収率を上げる手だてを検討する必要がある。

(3) 調査結果の分析のために、調査の精度を高める必要がある。

→回収率の向上その他の手段の検討が必要。

(4) FD活動の必要性への教員の自覚を促すために、調査結果の公表内容の範囲を広げる必要がある。

→広げる方向で行く。ただし、教員の合意を形成しながら行なう。

「共通教育部自己点検・評価委員会」委員名簿

(平成17年3月10日現在)

| 選出条項 | 職・所属 | 氏名 |
|-----------------|--------------|---------|
| 3条1号委員 (共通教育部長) | 教授 (農学部) | 山下 研介 |
| 3条2号委員 (情報処理入門) | 教授 (医学部) | 荒木 賢二 |
| 〃 (外国語) | 助教授 (教育文化学部) | ○南 太一郎 |
| 〃 (保健体育) | 助教授 (教育文化学部) | 玉江 和義 |
| 〃 (倫理・環境) | 助教授 (医学部) | 板井 孝一郎 |
| 〃 (人文社会) | 助教授 (教育文化学部) | 石川 千佳子 |
| 〃 (自然) | 教授 (医学部) | ◎西 森利 數 |
| 〃 (複合・学際) | 教授 (医学部) | 根本 清次 |
| 3条3号委員 (登録者選出) | 助教授 (教育文化学部) | 伊佐敷 隆弘 |
| 〃 | 教授 (医学部) | 加藤 貴彦 |
| 〃 | 助教授 (工学部) | 岡部 匡 |
| 〃 | 教授 (農学部) | 甲斐 重貴 |
| 3条4号委員 (委員会必要) | 助教授 (企画センター) | 武方 壮一 |

※ ◎印は委員長、○印は副委員長

3条1号委員：共通教育部長

3条2号委員：各分野別部会からの選出委員

3条3号委員：共通教育担当科目の登録者からの選出委員

3条4号委員：委員会が必要と認めた委員